

伊太利ミラノ市で

日系兵の爲唄ふ二世歌手

私に米国人が歌劇を好まぬのを責めたい。誰かヒヤ樽然たるテナーやアリアドンナが舞台を湘歩するのを好むでせう。私自身も昨夏まで見る方がよいと日系オペラ歌手長谷川とし子嬢に誘つた。

彼女が音楽に志してより十年その声名は夙に欧州に知られて居る然し彼女が未だ肥満して居るのを幸ひ婉曲である。彼女が容体美はしき日系女性である。一九三五伊太利ミラノ市に來り以後精進を続け左本年七月三日は伊太利ミラノ駐在の日系四二部隊の勇士達はその美声を聴かせた。

長谷川嬢は海生れで須市に長く住んで居る。彼女が唄ふ二世歌手は、

当所病院に居る長谷川トクタール嬢の今昔である。太平洋戦争卒業後ホストン及紐育で音楽の勉強をなし伊太利に一九三五年渡つた此處で彼女の最初に唄つたのは蝶々夫人であつた。以後伊太利スベインホルトカルル伯爵等普く歌行脚した蝶々夫人の外

聖球界

カリーガフエテラルリが共に出週を以てリッガ戦を終つた。アリゲではエイセス軍が辛じて優勝し、エテラルリはクでけ防衛軍が向う優勝する有様。大勝した。カリーガ共は加州搬遷

彼女がトラビアクラホへムバリアケフアスト等が得意である。彼女はサンカルロのスカラ座を始め伊太利の有名な劇場全部に出演した。米軍が伊太利に進軍した時、四二部隊の勇士達に会つた羅府の生徒、軍医大尉は長谷川医師の同窓生であつた。他の兄弟二人は軍籍にあると云ふ。

あるそうだ。将軍も米國に吸つて見度いと思ひますか。私達を迫害する地へは飯を喰ひ残りで子息子連け國のためには戦死するの。その家族は家を焼かれ、殺死を打込まれる。李の牙指し、私け加州へは飯らす紐育へ行く核りですと語つた。

紛失

大型烟草パイプ一個心當りけり。A松本迄。李が來るやう。フエテラル全盛。

- 投手 杉本清防
- 捕手 岩田翠(榮)
- 一塁 茅野清防
- 二塁 洪本克(王ダモ)
- 三塁 佐野清防
- 遊撃 山田(エダキ)
- 左翼 岡本繁(榮)
- 中堅 岩本(カ)
- 右翼 林(カ)
- 投手 洪本(王ダモ)

日本便

朗和一長尾繁志セル。奈良駒夫羅志西浦信吾。甲タニク三浦京助。イセニ乙村田三達實徳。大木良一(佐藤)大橋ニケ。夫人(重有)松浦ヨシエ。左記はホストン赤十字支部に保留中。

遺族作藤本太左エ門。藤田富子福村信行愛ト。タタ一美妻今田S。稲田一。一枚稲田酉市石碑米造。伊藤一人香川文一。鐘造。牛憲誠金子太郎北村正。男九山秀史増田久樹井。キヨノ松本普五郎松永。徳太郎三戸岡マリエ宮。城榮六三宅鉄夫三宅實。松森トノ村元フランク。村元松次中原正明中村。栗中村長造西小夜子野。口政四郎野村新造岡水。ミツノ坂井富久坂水豆。権野正春井水多エ子。竹内豊造竹内誠田辺実。田辺繁太郎谷カチヨ谷。

二世兵に叱られた。名記者パイル。伊比島の戦に於て二世西島ウヅ軍曹は被雷索に陥み入らんとする一老一等兵を怒鳴りつけ、たか後に被こそ米國で一番愛せられた戦地特級負アニーパイロであつた。李が判つた。パイロは間もなく同島にて日本兵に撃死された。この寓話がエースとなつてゐるのを見て西村軍曹は苦笑して居た。

感謝

美樹展り大成功程に終了したが主催者C月け出品者並に指導の任に當つてくれた諸先生に對し深謝して居る。

外部定住欄

市議会会社で 二世の名譽

廿世紀手袋會社發行按
新六月廿五日号表紙に
十五週兩皆勤ビンの受
賞者日本人二名の中一
人の字英を載せてゐる
他に十八名の二世か五
月の優秀工として紹介
された。

労働組合 二世許容

賞者一同中九に九地方
團際チームスター組合
長は駐在員に左記の書
を寄せた。
本組合支那け茲に二世
組合員を有する事を貴
若に通知す今右も彼等
を氏族宗教に關係なく
入会せしめる事を約す

東部治平で 住宅援助

率住而定住欲尙官ハバ
トトトリヤ文の發表

に依ると今回東部沿岸
地方(紐育事務所)に住宅
問題専門家を招聘の由
新住宅欲問工トワード
ヘルマレは同市一大土
地家屋全社の支配人で
且市の同問題少數民族
の取柄でもあつた因氏
は右地方に定住せんと
する日米人の住宅問題
解決に全力を挙げて努
力せんとする者である。

陸軍新聞 頑迷人攻撃

六月廿三日の社説に土
井事件に論及し放火犯
人の釈放を非難した。
米國に於て狭量け容認
せしむる疑獄を何處
迄も固執する者は憲法
中に完全融合し得る
單一個人と記入した毎
々祖先の伝統を蹂躪す
る者である精神の軍
一國人で有り得た事か

今日の強大な米國を建
設したのだ。
我が國の將來は宗教的
に或け人種的に多くの
異なる人々の政肩に懸つ
てゐる大衆が之等少數
民族を疎んぜんか將來
は暗澹たるものかある
前途オーバンで偏狭の
寄生生け米國正義の擁
護者を侵蝕し始めた若
し此の政策が続けられ
るなら前途にけ挫折か
待つ許りである。

閑鎖食堂

八區七月廿一日廿八日
八月三日廿四日八月二
日四日八月六日十一区
八月七月

出生

中山友次郎夫妻3男A
七月四日 女兒
出居吉郎夫妻方ノクA
七月七日 女兒
吉村正丈夫妻方3男B
七月八日 男兒
古木勝一夫妻方1670

七月十日 男兒
川口ジョージ夫妻方ノF
七月十三日 男兒
須磨田明夫妻 710F
七月十三日 男兒

(一)頁五飯より甚く
十一出所を希望しつつ
あるも三年余の所内生
活は蓄財も消耗し加之
大家族を擁して住宅難
其他の難関に遭遇せる
爲閉鎖期日迄に此の希
望を実現し得ざる困窮
者に對し居住而け如何
な処置を執らるるや
因に才十二條け変更し
て十一條となつた

佛敎会ニ入

明日旺の説教はノス乃
はて早島洲教便披露
新選YBA幹部
會長 福本ジョージ
副會長 内海ヒロ子
記録係 大坪テリ
音楽部長 伊藤多美子
宗教部長 若井 サム
社会部長 松永 スミ



今日の話題

金儲か教育か？(四)

(六)學生は授業時間中他
の方法に於て絕對に都
合つかざる場合にのみ
託物を許すが授業の補
充にけ何等かの手段を
採る事
(七)學業の傍パートタイ
ムの仕事を爲す場合も
學校当局及雇傭者は至
に連絡をとり義務と責
任を負ふべき事
少年労働に政府或け兩
親のみで單獨に解散の
つく問題でない、又現
行法の改変乃至その効
行交けけ如何とも爲し
得ない人道主義の理想
を説くかの如く愛國如
スロロカンを掲げる事
に依つて善悪の論点け
曖昧模糊の裡に算り去
られた急速に齒けたと
する動因に幾ヶ年の成
果先と其後必然的に伴

の卒業生社会を招来す
るので最も危險を産り
方である
其處で解決法けと言ふ
と之け全社会の事務で
あり各人が夫々才能に
依じて分擔せねけなら
ぬ誰か次の時代に關心
を持たない者があらう
か？宗教社会事業及教
育家廿四名が署名した
少年労働に關する宣言
は本問題解決け兩親雇
傭者學校及他の社会機
構全部に有する社会緊
急を期する爲の最要
事であると指摘した
戦時人力統制局の注視
に照して見ると大體
以下關係當局如何に
本問題に關心を有する
かを窺知する事か出来
る。要け青少年を成金
の夢から護る事だ(完)

新報

郵

(7)

ホアソン氏は前項以
末招の米田の外に千
英加の土地を所有して
居る此はア市とマギ
の中間に在りハイ
の側なるが故に住にも
便利であり赤土質の砂
土なるが故に此処を見
た邦人農家は誰しもが
異口同音に此処なら百
性を以て見たいと云ふ
て居る遺憾乍ら差当り
住む可き察が如何のが
残念ではあるが此は素
年度には解決する道と
ある灌漑用水は側を洗
水も河から汲ひ上げる
事に依り充分得らるる
ハイウェイには電線もあ
る事故電氣も早く引き
入れる事も出来ずに出
るの比近くて便利であ
る。

定には世五軒の家も用
意が掛かる筈其後と云
ふ何軒でも増加する可
能性が充分にある。
現今当地方一般地主の
希望は当社の知人農家
が此処に居残り日本人
特有の技能を發揮して
当社の開発を期するに
ある。
数十軒の農家が揃ふて
各郡に厩座り日本木を
建設して各自も儲け而
して州の発展にもなる
ならば地主の希望に副
ふ事になり一般住民の
喜ぶ且つ知人自身の為
とも考へらる。
承田に於て稗を作り
月の御糶意を用志し期
籾等の利身志は共同で
仕入れる事にすれば造
岸の生産と変り無く取
て到る双青山ありと見

る如くホアソン
氏農園には二週
りの肥沃なる土
質があり本年暮

ライアン師の 英語クラス

ライアン神父の英語科
生徒は月曜午前一時半
—二時—時—四時—
のクラスに出席せられた
しヒクラスは徒約の如
く公金堂。

法の神聖を汚すべからず 日系人脅迫犯人に体刑

米國裁判所はその大小
に拘らず法の神聖を汚
ると宣言しアルナツグ
ローブにて判事ミロエ
ダイ氏は日系軍隊に脅
迫状を送つたウィルマイ
ンシン嬢名はギデー
—ガソンなる女性に対し
て刑九十日を申渡した
之は執任所より飯還せ
る同胞脅迫に對する政
初の体刑判決である。二
十日同字概生徒の右一
年間郡より立退く條件

四羅府日本人住宅 近き特末羅府に飯還す る日系人二万六千の住 宅同敷に閣し救済向は 工団体に呼ぶのけ対策 を練つて居る既に飽和 状態にある軍需都市に て日系人に衛生的にも 敷かはしき所に住まぬ ばならぬと思ふ。

沙市飯還一同胞の苦
は政府の周達か彼等
の飯還は少くとも米
戦終決行ふべき性質
のものだと放言した。
然し昨日河以氏は實
花加中隊が二軒を除い
て他は全部拒絶したと
言ふ。

日系人の其他は買はぬ 沙港花崗の米イコワト

日系人の其他は買はぬ
沙港花崗の米イコワト
は政府の周達か彼等
の飯還は少くとも米
戦終決行ふべき性質
のものだと放言した。
然し昨日河以氏は實
花加中隊が二軒を除い
て他は全部拒絶したと
言ふ。

受取人を捜す 郵便物二通

受取人を捜す
郵便物二通
次の郵便物が沙市で迷
子となり警察官事務所
に保留中に付心当りは
至急受取らぬと云
私甲龍文(往每40.5C宅
ホストン市ギンハンカ
ワク生年係候公社手紙
田野ロバート3210E宛
柔港よりの者留郵便。